

「火の用心だより」

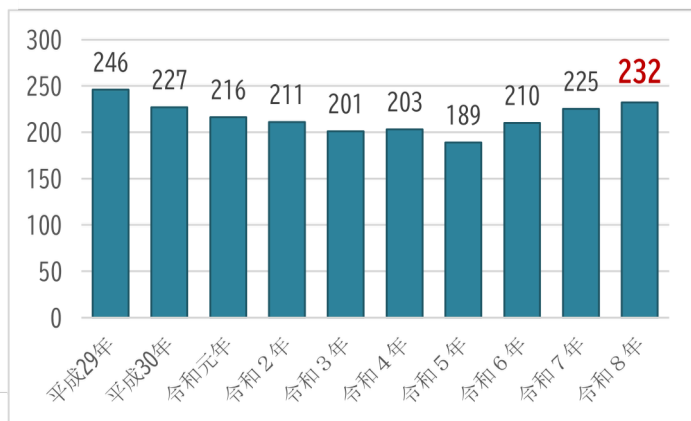
第137号（令和8年8月）

発行：札幌市消防局予防部予防課

令和8年上半期の火災発生状況(速報値)

札幌市内における令和8年上半期の火災発生件数は232件で、前年比7件の増加となりました。

また、火災による死者は3名で、前年比3名の減少、負傷者は45名で、6名の減少となっています。



【火災種別・死傷者の発生状況】

	総 数	爆 発	火 災 種 別								死 者	負 傷 者	
				建 物				林 野	車 両	そ の 他			野 火
				全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や						
令和8年	232	0	171	11	8	35	117	0	26	35	5	3	45
令和7年	225	0	164	7	10	38	109	0	23	38	8	6	51
前年増減	7	0	7	4	-2	-3	8	0	3	-3	-3	-3	-6

出火原因

出火原因は「電気関係」が最も多く、次いで、「放火」、「こんろ」、「たばこ」、「ストーブ」となっています。電気関係火災は過去10年間で最多となっており、モバイルバッテリー等の充電式電池からの出火が12件と依然として高い水準にあります。

	電気関係	放火	こんろ	たばこ	ストーブ
令和8年	61	33	29	25	17
令和7年	47	30	29	33	17
前年増減	14	3	0	-8	0

充電式電池からの出火

近年では様々な電気製品に充電式電池が使われています。その中でも、リチウムイオン電池はスマートフォンやモバイルバッテリーなど身近な製品にも使用されています。

火災予防の9つのポイント

①購入時の注意点

- メーカーが指定する充電器やバッテリーを購入する。
- 連絡先が分かるメーカーや販売店から購入する。
- PSEマークやリサイクルマークが表示されているものを購入する。



②使用時の注意点

- リコール情報や取扱説明書の注意事項を確認する。
- 高温の場所、強い衝撃を避ける。
- 変形・膨張・異常発熱等が認められた場合は使用をやめる。



③充電時の注意点

- メーカー指定の充電器を使用する。
- できるだけ目の届く場所で充電し、完了後は速やかに充電プラグを抜く。
- 充電中の様子を時々確認して、異常を感じた場合は中止する。



万が一、**発火**したら・・・

消火器や大量の水で消火し、可能であればバケツ等に水没させましょう。

廃棄時の3つのポイント

- できるだけ電池を使い切ってから、回収拠点に持ち込む。
- 電池の端子の接触部分をビニールテープ等で覆い、絶縁する。



製品から取り外したリチウムイオン電池／モバイルバッテリー		リチウムイオン電池を取り外せない製品	
リサイクルマークあり (膨張・破損のないもの)	・リサイクルマークなし ・膨張、破損のあるもの	・加熱式タバコ ・電子タバコ	左記以外
(一社) JBRC回収協力店 	・市役所12階 ・清掃事務所 ・地区リサイクルセンター ・市内回収協力店 (ビッグカメラ、ヤマダデンキ、マツヤデンキ、DCM)	燃やせないゴミの日 に、透明・半透明の袋 に入れて回収	小型家電の 無料回収へ 

※回収協力店や小型家電の無料回収等の詳細は、札幌市環境局のホームページをご覧ください。

札幌市 リチウムイオン電池 回収

検索

～市民が主役の火災予防～

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防災品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課
札幌市中央区南4条西10丁目
〒064-8586
☎011-215-2040



SAPPORO